

静中・静高 関東同窓会 会 報

静中・静高関東同窓会
会報 第23号
昭和62年6月5日発行
編集人 月見里得知郎



(新年会であいさつする宮澤会長)

発足十二年を迎えた関東同窓会、

岳南健児の意気と力で

ますますの発展を図り

親睦をより深めていこう!

一月十六日、新年顔合せ会には役員・顧問、各期幹事や有志など左記の方々が一堂に会し、楽しく意義深いひとときをすごした。

- 38 石割正、42 宮澤次郎・村松直・岩波信平、43 今井志郎・西沢純三
- 44 日井茂、45 大石清・鈴木弥門・須山達夫・草野哲、49 菅沼栄・杉本久敬、50 永田激、53 奥野孝・徳永悠久、54 庵原悌次、59 奥沢徹、60 上杉重吉、64 野沢正憲・渡辺素夫、66 田中俊男、67 成岡英彦・朝比奈正三・福原亨一・鳥居滋夫・大石脩而・土屋博・長倉孝三・中村次雄、68 雨宮明生・荒谷じつ子、69 神谷貞子・松島玲子、70 中馬敏雄・味岡宏・川端正良、71 後藤弘枝・伊藤勝・浦田彰・篠原直
- 73 中西英一・杉山光、77 加藤重信
- 80 野崎幸彦、87 薬科名雄

席上、宮澤会長以下役員の重任(任期三年)を内定したが、若手会員の力をさらに生かすべく、次

の三分科会を設置、充実して関東同窓会の運営の円滑化を図ることになった。ぜひ会員の一層のご協力をお願いする次第である。

◆総務・財務：53 奥野、59 奥沢、67 梶原

◆企画：67 成岡、68 荒谷、70 川端・中馬、87 平岩・薬科

◆会報・名簿：53 月見里・徳永、54 庵原、60 上杉、66 石川、68 雨宮、77 加藤

関東同窓会会員

みなさんにお願ひ!

総会・幹事会・懇親会等の集い、会報の年二回刊行、名簿の発行など、すべて会員のみなさんのご協力のおかげです。さらに発展を期し、親睦の輪を広げるためにお願ひをいたします。

一、年会費(二千元)の納入……三千五百名のうち、60年度の納入者は千二十七名でしたが、61年度は八百九十八名。会の運営に支障が生じますので、まず関東同窓会の年会費をぜひよろしく!

二、異動の連絡……名簿の整備は常に心がけておりますので事務局までぜひご連絡を。

各期幹事の方は特にご尽力をお願いいたします。なお、まだ幹事

の決まっていない期があり、連絡に難渋しています。同期会の折にでも幹事を決定してください。

その後の同窓会活動

(61年12月〜62年5月)

◎幹事会兼忘年会

・61年12月5日(金) 18時より
築地スエヒロ、会費二千元
出席者 37名

・61年度行事のまとめ

62年度事業予定
会報22号配布の依頼 など

◎新年顔合せ

62年1月16日(金) 18時より
ホテル東急観光「放鷹の間」
会費五千元、
出席者 45名(別掲)

◎幹事会

・62年3月4日(水) 18時より
築地スエヒロ
出席者 38名

・62年度総会開催について
62年度行事計画
会報23号の原稿依頼 など

◎幹事会

・62年5月7日(木) 18時30分より
築地スエヒロ
出席者 41名

・62年度総会(6月5日)について
総会通知はがきの発送依頼など

回想・隨感・近況など

アルバムの中の静岡

43期 倉沢 榮吉

私は関東生まれである。関東は今市、日光の手前で、人間もいまいち。故あって流浪し静岡に六年余の少年時代を過ごした。あとは大学も職業も東京と栃木県だけという閑東っ子である。しかし、静中時代の五年間はくつきりと際立っていて、それ以前とは完全に幕を異にしている。青少年時代のすべてをそこに凝縮した形だ。その

主因は、一年のとき、関東大震災のあと寄宿舎に入り、寮生活に終始したことにある。当時の級友はすべて小さなアルバムに顔を揃えていてまぎれることがない。

最近私の全集(十二巻)を出す話があつて、幼少年時代を写真に求めようとしたが、あるのは中学時代のアルバムだけである。小学校時代のアルバムは見当たらない。由比町の西のはずれに倉沢という部落がある。時々訪ねた記憶がある。

映画監督

47期 杉江 敏男

七間町のはずれにある電気館で人目を忍んで見た伊藤大輔監督、大河内伝次郎主演の「忠治旅日記」の興奮は七十才をすぎた今でも私の胸を高鳴らせる。

金沢先生(のち飯田先生)は早稲田を出て、静岡の英語の先生として赴任されて間もなかったと思はれる。土曜日曜と東京に行かれ封切ものの洋画を見て帰られ、その話をして下さる。まるで東京の文化を背負って来て、それを生徒たちに分け与えていられるような感じだった。映画のモニタージュ

理論をわかりやすく解説して下さったのも先生だった。映画少年の胸は、映画に向ってふくらむばかり。「将来の希望」と云う作文に映画監督と書いて担任の先生に職員室によび出されて叱られたこともあった。

希望かなって、昭和十二年東宝映画の前身であるPLCに入社した。黒沢明、谷口吉吉が先輩としていた。以来戦中戦後を通じて黒沢明、島津保次郎、成瀬巳喜雄、豊田四郎のチーフ助監督をつとめ、昭和二十五年、田村泰次郎原作、読売新聞連載の「東京の門」で

映画監督の第一歩を踏み出した。爾来二十年間、約八十本の映画を撮ってきた。戦後の混乱の中からの映画作り、やがて全盛期を迎え、そして斜陽への道をたどりはじめた二十年だった。私は四十五年、森繁、伴淳、のり平の「駅前棧橋」を劇場用映画の最後にしてテレビ映画に移った。

「大当り三色娘」と続き、いづれも大当り。次いで三十四年にお嬢ちゃんシリーズを作った。団令子、重山規子、中島そのみの三人のビチビチした娘さんの颯爽たる青春喜劇である。

三十五年には森繁、伴淳、三木のり平、加東大介、フランキー堺の共演する所謂東宝の社長もの「サラリーマン忠臣蔵」(前後篇)を撮った。森繁とは早稲田時代、文学部の地下室にあった部屋が隣り合せて、彼は劇研、こちらは映画で交流があった関係もあり、以後この社長ものにつき合うことになった。その社長もの間をぬって

慶応を出たばかりの加山雄三の売り出し作品「若大将シリーズ」をやることになった。血統よくスポーツ万能、大飯食いの特技まである加山の売り出しに、大学の水泳部、家は牛すき屋と云うシチエーションがピッタリで、これは当りに当り、加山をスターダムにのせた。

四十年には「西の王将東の大将」がある。西の王将役が藤田まこと東の大将が谷啓で、大阪と東京でいろいろあつて、両者の交流の場を静岡とした。この静岡ロケで同期の高橋平家(進)に世話になり、

三十一「ロマンス娘」、三十二年

三人娘共演の映画はこのあと三

相手役として出演をたのんだところ、心よく引受けてくれた。先日テレビで放映されたのを見た。なかなかの好演で堂々としていたのに改めて驚いた。平家の冥福を祈って筆を置きます。

◇ ◇
杉江さんは静中はもとより、静岡を愛した人です。昭和廿八年彼の作品「サラリーマンの歌」の中に、静中の校歌を採り入れ、岳南健児を感激させました。他の作品の中にも駿府城やお堀を撮影してくれました。

杉江さんは義理人情に厚く、恩師金沢先生を自宅に招いて謝恩会を開いたり、逆境にあった四七回の友人を再び世に出してあげようと、その人の会社の商品を映画に入れて、だまって宣伝したことなどは四七回の特徴を示す友情美談の一つです。

加山雄三、田中邦衛、星由里子、河内桃子、勘九郎さんなどは、最初に杉江監督に指導された俳優です。(杉山栄一)

首相への提言

50期 永田 漱

私は中曾根首相と旧制静岡高で同じクラスだった縁で、秘書から依頼され昭和五十八年一月に提言を

行ったが、首相から「夢」という葉書が送られてきたにとどまった。今でも甚だ残念に思っているのでその要旨を述べ、大方の御批判を戴ければ幸いです。

私はかねて上杉鷹山(一七五一—一八二二)がピンチの上杉藩を建て直したやり方が不透明な時代を生き抜く中小企業にとって大きな示唆を与えるものではあるまいかと思ひ、昭和五十七年秋米沢市を訪れ土地の篤学者から鷹山の業績を聞き、多少の文献を参考に次の結論を得た。

(1)「入るを計って出ざるを制する」ことに徹底し、黒字体質にする
(2)前項だけでは累積赤字は減らせないで、新規事業を起す
(3)以上をやりとげるため意識革命を興し、トップは命がけで当る
【提言】前述の(1)を行うのが、行政改革であるが、これだけでは不十分である。

①領土の拡張その一・埋立事業—我が国は幸い四面海に囲まれているので、この好条件を活用し、湾の埋立を行う。特に首都圏に近いところから始める

②領土の拡張その二・筏式—現在の土木技術をもってすれば、住宅用地向けに造れば、地震に安全のメリットもある。

③水素採取事業—次の時代のエネルギーは水素だろう。これこそ無公害だ。毎年定期的に運賃無料で運ばれてくる颱風という膨大な雨を災害と受けとめず、資源として活用する等電力をとる工夫はどうか。

④行政区域の改革—現在の県の起源は江戸時代の藩にあり、新幹線時代には如何にも小さすぎる。そこで〇〇地方といわれる単位、即ち北海道、東北、北陸等に統合すれば、行政コストも減り、地域開発にも都合がよくなる。

⑤外債の発行と現地買付—アメリカとECで外債を発行し、その資金で現地で物資を調達すれば貿易摩擦の解消に役立つ。もし適当な買付物資がないなら、食糧を買い付け飢饉に瀕している国への援助物資に活用してもよい。

⑥ミサイル中心の専守防衛—三菱重工が命中精度の高い近距離ミサイル開発に成功したと聞く。ペンシル型の小型ミサイルで百発百中の高性能なものは、わが国得意のIC技術を中心に開発すれば可能である。これでハリネズミ方式で攻撃してくる兵器を基本として撃破する専守防衛を基本とし、そういう産業の振興と機密保持に努めたい。

以上かいつまんで述べたが、現行制度では、首相といえども、選挙で落ちれば、ただの人となってしまふから、選挙区のこと、目前の成果に気をとられ、百年はおろか、十年二十年先の計画など、すべて「夢」となってしまふだろうが、ここまで伸びた経済大国ニッポンの未来は、極めて淋しいなあという感じは拭いられない次第である。

△追伸△次回同期会は十月十九日(月)に開催します。

随感

55期 中野 治良

今回、相川氏より、出来れば静岡時代のことを中心に何か書くようにご指名がありましたので、思いつくままにとりとめのないことを書かせていただきますがご容赦下さい。

私の静岡中学時代の思い出は五十年という長い歳月を経て、連続したドラマという様なものではなく、折にふれて思い出す極めて断片的なものです。

例えば学校に於ける体罰の問題が騒がれたことがありますが、その時には中学で宿題をさぼって先生から竹刀で一撃を受け縦に長い瘤ができたことが懐しく思い出

されました。「いじめ」の問題が話題になった時期には、私達も中学時代には腕白さかりで強者が弱者に実力を使役することなど日常茶飯事でしたが、そこには現在の様な陰湿さはなく、楽しく騒ぎ廻っていたことを思い出しました。

又、最近テニスが盛になってラケットを持っている若者を見るのが多くなりましたが、その時には私も庭球部に入れてもらいながらさっぱり上達せず、徒に球にふり廻されていたことが目に浮びました。ざっとこの様な具合で何かに

つけ思い出される中学時代のことには断片的ながら懐かしいものがあります。これは五十年の歳月がなせる結晶作用、或は美化作用の結果でしょう。

ところで不思議に思うのは、思い出すことに学校外のことが余りにも少いことです。実は、今回の寄稿指名に刺戟されたのか先日雑誌を買いに本屋に行った時歴史の年表が眼につき繰ってみますと、私の中学時代、昭和十年から十五年頃というのは実に大変な時代であり、五年間に内閣は八回も変り二・二六事件あり、日中戦争は起り、遂に第二次世界大戦も勃発するという騒ぎです。その頃私はこの様な激動期に何を考えていたの

でしょうか。まだ中学生はこれらの時代の動きからは離れていることが出来た為か、もう十六、七才になって幼稚とはいえ関心も持ちシヨックも大きかった筈なのに、このような政治的社会的大事件については長い間ついぞ思い出すようなことはなかったのです。これは勿論私の記憶力の弱さが理由でしょうが、中学を出た後の大東亜戦争、空襲、終戦等の痛切な体験の方が余りにも大きすぎた為かもしれません。

いづれにしましても、私にとつて静岡中学時代は古き良き時代であり、その思い出は断片的ながら永い歳月の結晶作用により美化され珠玉のようなものになっていきます。これは私には幸せというべきでしょう。これからも校庭から仰ぎ見た秀麗な富士山の思い出と共にこれらの思い出を大切にしていきたいと思っております。

「ラファエロ壁画」を観て

60期 大石 隆一

西集や複製で親しんでいる泰西名画をいくら素晴らしいと思っいても、その本物をヨーロッパの美術館などで目のあたりに鑑賞すると、本物だけが持つ迫力というか、絵具の使われ方、色彩の微妙

な変化などが圧倒するようにこちらに伝わってくる。そういう経験をしながらいくつかの美術館を観て歩いたことはあるが、今でもラファエロの作品に直接当たったことはない。

今回同期の岡村崔さんの「ヴァチカン宮ラファエロの壁画」写真展が、大丸グランドホールで開かれたのを機会に、ゆつくりとその成果を拝見させていただいた。日頃思っていたことだが、写真家が対象に接したとき、どのような視点に立っているのだろうか。写真家は自分の眼で見て感動したものをレンズを通して、いくつかの処理を施した画像を印画紙上に定着して、我々に提供してくれるが、それは写真家の感動をそのまま再現して息吹きを伝えてくれるものであるのか、このような危懼をいつも抱いていたのである。

このたびの展示を拝見して、このような危懼は全く杞憂に過ぎないことが判って、たいへん嬉しくまた感動の連続でもあったのである。

一般の絵画ならば、そのある場所へ行けば我々は心ゆくまでその本物を微細に鑑賞できるのは当然であるが、ラファエロの壁画となるとそれを美術館へ持って来るこ

ともできないし、たとえヴァチカンへ出かけて対面したとしても近接して見ることは不可能である。

今回の岡村さんのラファエロ展は、六年前の「ミケランジェロヴァチカン壁画」展と同じようにその不可能を可能にしてくれたことに意義がある。ラファエロは岡村さんのレンズを通して我々の目の前に迫ってくるのである。壁のひび割れは元より微妙な筆の使い方や細部にわたって読みとらせてくれるのである。しかもラファエロの優美さが直接的に我々の心にひびいてくるのである。写真家の確かな眼が我々の眼をラファエロに釘づけにしてくれるのである。秀れた写真家にしかできない偉大な業績である。

帰り新参

都を離れて三十有余年

67期 金子 堅司

すっかり田舎者に成ってしまいました。錯綜する地下鉄も一向に理解できぬ儘に、毎日迷いながら訪問活動を続けています。その昔は戸塚から新宿、渋谷とのし歩き、いささかなりとそここの小路小路には自信があった筈

でしたのに、往事茫々……。もうもうすっかり変わってしまった東京に、ひたすらボーゼンであります。

もう一度最初からやり直してあります。思うに武蔵野館も和組マーケットの存在すらも、歴史の中の物語りであり、今歩いてみては今昔の感ひとしおであります。

昭和二十年、長谷の木造オンボロ（それ丈に貫録があった）校舎に入學し戦火による焼失以来、転々三度。城内高等学校なる奇妙キテレンな名前に変わった静岡を卒業、東部に遊学すること五年。以来静岡近辺を右往左往でありました。縁あって今の村上開明堂に入社して十年余。その殆んど硝子なるものの販売に従事して参りました。此処で少しPRをさせて下さい。

当時七間町に地球儀のネオン塔があったことを覚えていらつしゃいますか。空腹を抱え鬧市と映画とそして自転車に乗って女学生に色目を使う位が精一杯の青春でしかなかつた我々にとつて、これはその証の一つであったと言えます。そんなネオン塔の傍にあったガラス食器類販売のちよつと洒落れた店が勤務先の前身でありま

す。時代の流れの中で主力を板硝子の施工・販売に絞り込みローカルなりに努力。今ではオールジャパンナンバー1の立場に成りました。不肖私の力に依る所大とは申しません、少しは寄与したのかなー（？）。

一方鏡から始ったバックミラーは世界第二位の立場にあります。そんな我が小生に課した任務は、世界一の巨大マーケット東京で稼げとの至上命令であります。

使われ人の哀しさにて静岡では何処でもつかけの利く私が（大きく出すぎかな）、今更のように財布を持って大東京をウロウロであります。お察し下さい。静岡弁（有るのです。上京して思い知らされていきます）丸出しの私、金子をふるさとの誼では是非お助け下さい。

それにつけても静岡を卒業して良かったと、しみじみ思う昨今であります。世に高校あまたあれど静岡に勝る高校無しです。折目正しくそして適当に甘えた郷土愛、そのくせ、九州や僻地とは違うンヤレタ田舎者静岡マン。他校には悪いが人間の格が違うんだと自負しているであります。他校リアリスト、静岡ロマンチスト。極めてお人好し集団也と思えます。会えばたちまち横一列に並び酒杯を

かたむける我々。素晴らしい仲間です。

先輩諸氏、後輩諸君！

こんな金子に此地でひと働きさせて下さい。

誓って申し上げます。我等静高マンは決して一方通行にあらずと

香港

香港 70期 清 智

二度目の香港勤務を終えて一九八六年六月末に帰国しました。香港が懐かしく思い出される今日此頃です。

最初の赴任は中国本土で文革真最中の一九六九年。香港では一九六七年の文革の影響を受けた暴動も治って治安も良くなっていましたが中国派と台湾派の争いは激しく、国慶節（十月一日）と双十節（十月十日）で五星紅旗と青天白日旗の本数が大きく新聞に取り上げられていたものでした。また中国系の書店では赤表紙の「毛沢東領袖」が中国の全てであり、文革の成果が大きく報道されていました。

二度目は一九八四年三月の赴任でこの間十四年。出張で訪れた事はあるものの住んでみてその変化

には驚きました。経済的な発展は驚異的で、人々の生活水準が大きく向上しているのです。勿論、貧富の差は未だ激しい社会ですが、日系のデパートに出入りする若者達など以前は想像も付かない事でした。

一方、政治的には香港の中国返還を巡って中英交渉が続けられており、香港の人達はその成り行きに不安を持ち乍ら注意してしま

其後、中英交渉は永久割譲地（香港島・九龍地区）も、新界及び近隣諸島（一九八八年の新界租借条約により英国が一九九七年まで九九年間に亘り租借）と一緒に返還する事で合意され、中英共同宣言に至った事は御存知の通りです。これにより一九九七年六月三〇日をもって香港は英領植民地の歴史を閉じる事になる訳です。

中英交渉の経緯と調印式の模様をTVで見ながら、アジアに於ける近世植民地時代の終末と、これからの行方考え、歴史の流れをしみじみと感じたものでした。

扱、外国に駐在する場合一番大事な点は、その国（又は土地）に住んでいる人々が好きになる事と、思っています。中には嫌な目に会われて好きになれない人もいます。

しょうが、これは本人にとって大変不幸な事で、仕事にも差支えると思えます。この点、今の香港は日本人にとり良い方だと思えます。

多くの駐在員は、たとえ仕事が大変であっても、夫々に生活を楽しんでいるでしょう。旅行も自由に出来ます。しかし外国はあくまでも外国。風俗・習慣の違いからとんでもない誤解や事件が起きる事



九龍より香港島セントラル地区を望む

がありますので注意を要します。

例えば香港の人達を拜金主義の権化の様に言う人が多いのですが、「金」しか頼りにならない生活環境から見れば当然の事なのだと思います。

っています。しかも中には例外の香港人も結構いるのですから、要は附合い方かも知れません。

香港の人口は一九八五年末で約五百五十万人と発表されていますが、実際には六百万人位と言われていると。九八%の中国人のうち大部分が広東人なので、香港は広東人の街と言ってよいでしょう。

北京人も上海人もこの土地では余所者なのです。プライドの高い広東人は普通語（標準語）の勉強を余りせず、北京・上海の人達との意思疎通にも相当困難がある様です。

シンガポールでは教育政策面で、普通話学習に力を入れていますので、将来は香港もそうなるて行くでしょう。ビジネスの上では、一般に上海系の人達との附合いが多く、金儲けは上海人の方が上手かも知れません。

広東語の他に英語が公用語と言っても、日常生活で全て通ずるものでもなく、中国人の英語も馴れないと聞き難いものです。特に広東人英語がひどいようです。

中国人の社会は言語の違いの上に地縁・血縁の相互扶助組織や幫があり、更に李氏宗親会という様な擬似血縁集団があつて非常に複雑で、日本人には理解し難い事が多いのですが、この様な点に注意

しないと、華僑社会との附合いに失敗してしまつたので常に要注意です。

香港はタフな中国人に支えられ自由放任主義（Laissez-faire）の下で活力のある社会を形成しています。チープガバメントを標榜する政府は最近財政難で苦勞しているとは言え、所得税の上限が総所得の十七%、法人税は利益の十八・五%が上限というのは何と言っても企業・個人にとり魅力でしょう。外国企業も集つて来る訳です。

香港と言えば過去のイメージより、伏魔殿であるかの様にお考えの人もあるでしょう。確かにその様な面もあります。しかしこれは現代都市なら程度の差こそあれどこにもある面でしょう。新しい近代的ビルが林立する香港は今、アジアNICsの優等生として世界に羽搏こうとしているのです。香港の主要貿易相手国日本も大いに協力して行く方が良く考えています。

観光地としての香港は多くの旅行ガイドブックで紹介されており、詳しい事は省略しますが、旅行シーズンでは十一月が気候・料理共にベストでしょう。有名なピクトリアビークよりの眺望は昼・夜それぞれに素晴らしいも

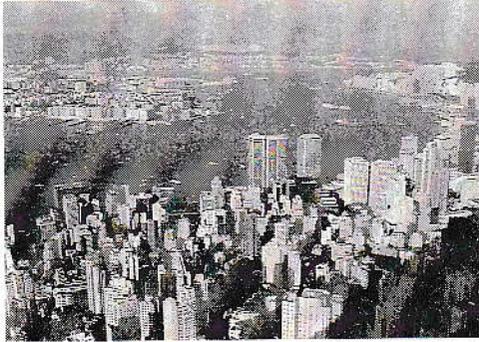
のです。アバンディーンやレバルスベイもまた美しい海と島の景色です。新界では錦田の城壁村落や中国との国境地帯も日本人には興味ある風景でしょう。もっとも、現在の国境地帯には緊迫感は何もなく、以前中国側に見えた望楼や兵隊と機関銃も消え、今や深圳経済特区の巨大都市に変貌しています。

香港と言えば矢張り買物と中華料理です。ナイトライフはまた別として、本物の舶来品・宝石類が日本で買う二分の一か三分の一で買えるとなれば女性ならずとも興味をそえられるでしょう。難しい事は贅物を掴まされない事で、この点日系のデパートも多いので事前調査が充分出来ます。例えば皮製品としますと、オリジナル・材料輸入香港縫製・材料共香港製と三種類はある訳で、安い安いと喜ぶ中で、問題のある品物を買った日本人が結構多いのではないかと見えています。時計なども同様で、余程の知識が無いと失敗します。因みに台湾やバンコックでも買物は相当蔓延っている様です。むしろ香港は政府が取締りを厳しくする事になり、物によっては非合法化されています。尤も、それでも跡を断たないのが実体で、妙など

ところで中国的タフネスが現われて来る訳です。

中華料理は何と言っても香港が第一です。腕利きの料理人がいる上に材料が豊富です。夫々の国や都市での自慢は聞きますが、国際都市という面から見ても香港を越せるところは無いと思います。

「食は広州に有り」と言われ、広東料理が最高とされていますが、



香港島ヴィクトリアピークより九竜を望む

香港島ヴィクトリアピークより九竜を望む
源五郎虫(竜虱)・沙蚕・蟬など所謂下手物の多いのもその特徴でしょう。秋から冬にかけての蛇料理も有名です。広東料理の他には勿論、北京・上海・四川・潮州・

客家、さらには数は少くとも、杭州・湖南・福建・山東、などがあり、各地方の特色を表わしています。日本料理の中には上海・潮州の流れが多い様に思っています。色々書いて参りましたが、これからの香港がどうなるのか、もう少し触れてみたいと思います。

先に述べました様に、中英共同宣言により、自由で多元的な現代の都市国家「香港」は返還が決まり、返還後も特別行政区として五十年間現状維持が保証されています。この約束をどう受け止めるか人によって異り、結論も違って来る訳ですが、香港が今後は中国の政治的影響を確実に受ける事は容易に予測されます。この事は既に香港特別行政区の基本法(憲法)制定問題を巡って表われています。

一九九〇年迄に基本法の最終草案が決められる事になっていますが、この論議の過程で英・中・香港の立場が明らかになって行くと思われまます。紆余曲折があるでしょう。香港の人達の中には不安を持つたまま、落着くべき国を求めている人も未だ多いようです。

中国の開放路線がもう戻れないところ迄来ていると理解するならば楽観的な見方も出来ますが、中には中国内部の政変を気にしている人もいます。

香港の隣りにある深圳経済特区はこのところ予定通り進まず、中国内部でも論議を呼び起していると言われますが、既に相当開発も進んでおり、何年か後には香港と同じ経済圏の中で活動する事となりましょう。そうしなければこれ迄の中国の投資が無駄になるばかりでなく、中国の近代化そのものが遅れます。中国側の一層の努力



国境より深圳経済特区を望む
ここ3~4年の変化

が望まれるところです。「一国家二制度」の試みや「港人治港」の発想は、将来の台湾問題を最終目標にしている事は明らかであり、その為にも中国は「香港」を上手に扱って行かねばならないと思われまます。

一方香港側は香港の「安定と繁栄」を旗印にして、人心の収攏を計っています。しかし元々経済中心で政治不在であった社会だけに問題は多いようです。政治には無関心で、民主主義にも馴染めない香港の人達がどの方向に動くのに興味のある点です。

中国にとっても、香港の経済的、社会的安定と繁栄は不可欠であり、従ってここ当分は大混乱に落ち込む事はないと見ています。それを裏証する為にも新しい太平洋の時代に香港が確固たる地位を保持して欲しいと願っています。

そして香港はこれからも中国への窓口として重要性を増して行き、中国の南支関の役割を果す事になりましよう。

更に今後は中国に対する日本の態度で、日本に対する香港の動きが変わると見られます。対日感情もこれに強く影響されましよう。

日本の Over Presence が云々される事も多いだけに注意しなければならぬと思います。日本政府の外交政策に期待したいものです。そしてもう時代遅れの言葉かも知れませんが、「東洋の真珠」

香港がいつまでも平和で繁栄して欲しいと願って止みません。

(三菱重工業(株)勤務)



香港島九龍新界全圖

浅草の出会い

71期 後藤 弘枝

まずは「おでん」のことです。私たちが静岡人にとって、正確に申せば私のような静岡人であつた人間にとって、あの静岡おでんの味は忘れられようもないものでございます。煮込まれて煮込まれてほとんど石炭の串刺しのようになつたじゃがいも、古漬けの靴ペラとまちがえそうな黒ハンペン……。ダシ屑の中になつぱり突込んだうえ、青ノリをしつかりまぶしては

おぼるあの味……。今でも私は実家に帰るたびに近所のおでん屋「山初さん」に寄り、十年もそのままのようなおでん鍋をのぞきこみながら静岡へ帰ってきたカタルシスに酔い、静岡人としてのアイデンティティを確かめるのです。失礼しました。ここで私ごときおでん体験をお話するつもりではございません。静岡おでんのウンチクは諸先輩におゆずりするとしまして、私がお伝えしたいのは、このおでんが機縁となりました一つの出会いのことなのでございます。

去る三月某日、関東同窓会の幹事会が築地スエヒロで開かれました。71期の幹事として参加させていただいた私ですが、宴たけなわになるほどに意気ますますあがる諸先輩の熱氣にあてられ少々早目に退席したのでした。そして外に出て銀座の方へ歩きだしたとたん学生時代の友人にバッタリ、十年ぶりのごぶさた話が始まります。男同志でしたら当然ここでちよつと一杯やつてこじやないか、ということになるのですが、女同志では……ところが近頃では女同志でもそうゆうことになるのでございませう。友人がいました。「ネエ、おいしいおでん屋がある

んだけど……浅草に」
「エッ 浅草？」
「地下鉄ですぐだし、帰りは京急一本で横浜に帰れるじゃない」
「そうか！ 女同志の浅プラも悪くはないか、ならイコカ」
ということになったのでございませう。

そのお店は観音様と松屋の間の通り馬道通りを言問通りに向つてしばらく歩くと、左側つまり観音様側にありました。何の変哲もない店構えです。店の名は「丸太ごうし」。友人の話ではこのお店、浅草で店をはって六十年、昭和四十二年刊「新・東京いい店うまい店」にも気どらない安くてうまい店と紹介されているほどの老舗、近ごろ流行りの出来星グルメとは格がちがうということでした。さすがに下町らしい雰囲気の中で常連らしい人たちの遠慮のない東京弁がボンボンとびかっています。さて、カウンスターの隅に落着いた私たちが、ちよつとうす味の典型的な東京おでんをあれこれ味わつておりました(スエヒロのお肉はどこへ入ったのでしょうか)。

ビール二本もあけた頃でしよつか、私の手元にタコ串をさし出したおやじさん(この店は七十年配のおやじさんと息子さんらしき

ご夫婦とで切り盛りしているようにみうけました)がニコニコしながら

「アンタチャ、静岡かや？」というではありませんか。
「エッ、どうして？……アッそうか！」私の手元には先ほどスエヒロでいただいた同窓会会報があつたのです。

「ワシも静岡よ、セイチューさ」
「セイチューウ？静岡中学ですか」
ここまでくればもう同郷同志、

おでん鍋の底に沈んでいたネタを次々とひろいだすように想い出話があります。息子さんもニコニコ「うちのおやじは何んたつてセイチューだものね」とうれしそうに話に加わる仕末で、すっかり腰をあげてる機会をなくしてしまいました。それでもなんとか名残りを惜んでお店を後にしたのは終電間際、隅田川からの川風が春の気配をふくんで気持よかつたことでした。

おやじさんのお名前は加藤定巳、大正十一年の入学で今年七十八才、残念ながら家の事情で四年で中退とか、親子三代にわたる浅草でのおでん一筋の浮き沈み、これはこれで一冊の本になるようなお話でした。一度お立寄りのうえゆつくりと男同志でおきき下さ

い。このお店で残念なのは、ネタの中にあの黒ハンペンがなかったこと。でも、ひよつとしたら今ならあんなつかしい味が味わえるかもしれませぬ。静岡おでんのなつかしさをおやじさんに吹きこんでおきましたから。それを楽しみにまた私も行こかしら。

階段

75期 黒沢 秀文

あれは何時頃だったか。そう、確か高校生の頃、七間町で見た映画の冒頭。山本富士子扮するクラブのママが重い足取りで階段を上り乍ら「私はこの階段を上る時が一番嫌だ……でも、上つてしまえば、また別の世界がある……」とつぶやく。何故か、今頃になって台詞の切れ端が浮んでくる。或いは全然違う台詞だったかも知れない。

しかし「別の世界」とは言いえて妙。真面目だけが取り柄で静高を卒業、大学もやつとこのことで終ると上京。製菓会社に勤めることになった。配属されたのは開発部。研究と営業の中間の部門とも云えようか。ともかく、会社或いは誰か)がある化合物をクサリにしたいと思つた瞬間から私達の

仕事が始まるのだ。クスリにできると云うデータを会社の中から、国内から、外国から、ありとあらゆるところからかき集めて厚生省に送り込むのが役目である。重すぎる荷物を背負わされて、人生の垢も少々付き始めた今日この頃、東奔西走していると思わず思ひ出されるのがこの台詞である。独りごちながら「疲れているなあ。でも気合も入っているなあ」などと花の中年は自分を勞つてみるのだ。

初々しい新入社員の姿を見るシーズンになるとバツの悪い思ひ出が頭に浮ぶ。新幹線は東海道だけの二十年前、夜行列車で出掛けたある古めかしい大学病院の中。偉い教授にお会いする前に「髭を剃らなければ」と思ったとして頂こう。洗面所を覗いてみたが電気カミソリが使えるような差し込み口がない。床屋もカミソリを売る店も開店には間がある。思案の末、ポツポツ出勤して来ている総務課だか庶務課だかの事務員がいる部屋に飛び込んでみた。「済みません。コンセントを拝借したいのですが……」と新入社員。「どうぞ」と事務員氏。「どうも」と頭をかかへ新入社員。でも、ああ。カバンの中に電気カミソリが入ってなかったのである。洗面用具と着替え

の入ったバッグを駅に預けて来たことをコロッと忘れていたのだ。バツの悪いこと、悪いこと。

それから十年程たって関西の某有名教授に論文を書いて頂いた時のこと。先生と私と職場の仲間とは朝からホテルの一室に立てこもった。先生は温顔、ロマンズグレイ。ポツポツ筆を進められる。私たちは指示にしたがって細かい数字や文献を確認して答える。時に筆が止まり、熟考される。ポットの水を飲み、一頻り部屋を歩き回られる。小休止してテレビの相撲中継を楽しまれる。私たちの拙い考えも尋ねたりされながら夕方に論文は仕上がった。帰りの車の中、他人が熱心に勧めてくれることには余程のことがない限り悪いことは無いものです。素直に乗ってみるのが私の生き方です」と微笑みながら言われたのだ。何でもない一言だったのか、人生の先輩として教えられたのか、はつきりしなかったけれども、長い長い一日を終えた後の疲労と満足感と共に今でも心に残る言葉である。

二年程前、仕事でドイツへ行った時のこと、到るところで「ダンケ・シェーン」、「ピツテ」が繰り返されることに気付いた。どの人も極めて自然に対応しているの

だ。不機嫌な顔の日本人を見慣れた私にとって、これは新鮮な驚きであった。ひょっとすると日本人同士が得意とする頭をびよこんと下げるだけの挨拶は、所詮マイナーな会話なのではなからうかなどといふ思いが強くなった。よしっ、今日は明るく極めて自然に「おはよう！」と言いながら部屋に入ろう、と思いつきながら今日もオフィス階段を上る。(科研化学勤務)

東ベルリン入国の強烈な思ひ出

77期 加藤 重信

去る三月中旬にISO(世界標準化機構)TC97(情報処理部門)SC2専門委員会の年次総会が西ベルリンでありました。日本代表の一員として参加する機会を得ましたが、このときの思ひ出の中から、とくに印象の強かった東ベルリンに入国するときのトラブルを紹介します。

成田からの二十二時間余の飛行機の旅は現地時刻で日曜日朝九時西ベルリン・テゲール空港に到着して終りとなりました。そこはもう全く日本語の通じない異国。生れつきの好奇心の強さゆえ、前日に西ベルリン入りしていた日本代表の一人、NTTの鈴木氏と疲れ

や時差を物ともせず、さっそく東ベルリン探訪へと出かけました。何をどうしてよいやら全くわかりませんが、日本から持参した案内書と独和辞典を頼りに出かけました。

案内書によれば、西ベルリンから東ベルリンへは三ヶ所の検問所から入れるが、戻るときも同じ検問所を通ること。入国のとき5西ドイツマルクで一日ビザを入手する。最低25西ドイツマルクを東ドイツマルクに交換すること。なお東ドイツマルクは持ち込めないこと。などと書かれていました。日本語を読んで頭の中ではわかつたつもりでも、百聞は一見にしかずの諺のとおり。とにかく強烈な体験をしてしまいました。

ホテルのフロントで「カメラは持込んで可。ただし、検問所、交通機関、橋、軍事施設は撮らないように」とのコメントをもらってしまいましたので、全自動カメラとビクターのビデオムービーのカメラをシュルダークケースに入れて持って行きましたが、これがトラブルの元でした。

Sバーン(日本の国鉄相当)のフリードリッヒ通り駅の検問所は駅のプラットフォームから階段を降りたところにありました。そこは

異様な雰囲気。通路の両側に渋い緑の軍服のコート、濃茶の帽子の東ドイツ兵が整列しています。圧倒されるような威圧感に耐えて進むと突然広い空間に出ます。しかし突当りに10ヶ所ほどの木の扉があり、その前に何人かが行列しています。独和辞典を頼りに私達の並ぶべき列を見つけて後ろにつきまします。ここが入国審査。薄暗い通路になっていて、左のガラスの向うから東ドイツ兵の鋭い目がこちらを見ています。プザーが鳴って扉を押すともう明るい空間。ここで25マルクを東ドイツマルクに換えて、いざ東ベルリンへと。

ここで、トラブルがおこりました。手荷物の検査に引っかけた「ビデオカメラは持込めない」といつているようなのです。悲しいかな言葉が通じません。そのうちに東ドイツ兵が呼ばれて、腕をつかまれて引っぱっていかれました。もう心臓はとまりそうです。来た道を手続きを逆戻りにして戻されて、あわや追放。地下鉄の駅の前で向うに行けと指差します。東ベルリン側に同行の鈴木氏は残してきていますし、どうして良いのやら頭の中は全く混乱。そのとき、東ドイツ兵が「return back」といったように聞きました。とに

同 期 会

かく指差したところへ行ってみると手荷物一時預り所。預り証を持って戻ると今度は兵隊と一緒なので特別扱いでスイスイと東ベルリンへ入れました。しかし、一時は

どうなることかと思いつきただけでも冷汗が出てきます。楽しかった思い出など、また別の機会に紹介したいと思えます。

45期 せひご参加を

この便りの冒頭に大石清君(板橋区成増在住)の計を知らせねばならぬのはまことに残念です。君は、ここ数年下肢に関節炎を起し長い距離を歩くことが難しくなつたということでしたので、折に触れ見舞の電話をかけましたが、比較的元気な声が返って来ておりました。ところが昨年暮に夫人から喪中につき年賀欠札との挨拶状が届きましたので驚き、電話いたしましたところ、駿河台日大病院に入院中、容態が急変し心筋梗塞のため11月5日他界されたとのことでした。ご家族も余りの急逝に驚いておられました。暮も押し迫った27日に鈴木と田附と二人で夫人を訪ね、焼香の上静中第45期会の名で香典を仏前に供え、故人の冥

福を祈って参りましたので報告申し上げます。(なお、関東同窓会会報第22号の15ページ「こゝろ欄」に故人の感想文が掲載されております。日大病院入院中の執筆です)

次に、石上君は手助けをしておりました息子さんの法律事務所の仕事から手を引き、黒田君は経営している中華料理店桂林を委せる人を得て第一線から退き、速水君は国士館大学を退職しました。それぞれ人生第二の仕事も終えられたもので、こうした自適の生活に入る仲間が殖えて来ました。さて、奇数月の第2火曜日(定例)として有楽町の生命保険倶楽部に於ける集りは、最近では出席される顔ぶれがきまっています。感ぜいで、定連(大石、柏木、草野、佐野、鈴木、田附)以外の方の参加を待望しております。どう

ぞ体調のよろしい時には気軽に足を運んで下さい。待っています。(鈴木弥門)

47期 新年会の記

在京静中四七会の新年の集いが一月十六日、恒例の新宿ビルの割烹で行われた。

東京並びにその周辺の同期生は約三十名であるが、この日は半数の十五名が出席した。特に静岡からは、石上真義君が代表として出席した。

定刻四時、幹事の亀山敏男君より挨拶があり、

「長い間、新春恒例の集りをやってきましたが、何と言っても皆「年」であり、七十を越えることになった。残念ながら、昨年は全同期生の中から五人の諸君が不帰の客となった。

それにつけても静岡中学以来の同期生の絆は、ますます大事なものとなってきた。

来年は今日の集りの内、一人も欠けないで元気に集れるようにしよう」

全員が同じ気持ちに打たれる言葉であった。更に現在の幹事(亀山、志田)の期間が、あまり長いので交代したいという意志表示があった。これについては取敢へず昭和

六十二年度は横浜方面の諸君が受持つことになった。やがて酒が入ると、当然昔の中学時代に帰り、左右をかへり見ながら、お互いの近況とか、昔なつかしかった野球の時代、テニスの話など時の経つのを忘れた。心が若返った時は、幾才になっても甲子園の話が出る。静高が甲子園で活躍するのを卒業をした人間は毎年期待しているのである。

尚、多年幹事をやってくれた亀山、志田両君は実に十七年にわたる世話役を引受け、またいろいろと遣り繰りをやって来て呉れた。本当に感謝に堪えない次第である。

尚、当日の出席者は左の通りである。
石上真義、今関智吉、石川弘光、石割五郎、片山正二、亀山敏男、佐津川太郎、志田千春、杉江敏男、杉山栄一、中村豊夫、野口真、星野三郎、山上信重、吉見四郎、大村三郎 (大村三郎)

52期 17名集まって

五十二期同期の諸兄! 昭和六十二年も若さ一杯元気に迎えられる事と思えます。私等も静中を巣立ってから、はや半世紀を過ぎて来たわけで、よくも生きのびて来

れたものと感無量の思いで一杯です。思えば五〇年の才月、長い様な短い様な、世界、日本、個人、何れをとっても大事件の渦中の中、波乱万丈、喜びも悲しみも辛さも今は、楽しい思い出として残っておる様な気がします。懐旧の思いは老化の証拠と云われ、未だ若いつもりは鼻柱をへしおられる様な気がするのでさておきまして、私等五十二期在京生の同級会を、例年の通り六十二年十一月二十八日今回は茂呂茂樹、西田豊馬両君の御世話にて場所も気分一新、有楽町駅前前の「レバンテ」にて開催致しました。今回も在京生の約半分十七名の方が出席され、将来の展望、懐古談等談論の交換に花が咲き、岳南健児の校歌も二の次になる程爆笑と尽きない話題の中、盛會裡に又来年の同級会で会う日を約し、その日を楽しみに後がみをひかれる思いで解散致しました。

尚当日の出席者は、相島秀夫、今井健三、岩本良雄、遠藤謙、川島喜八郎、上林明、菅米地一樓、榎松恒石、直原澄衛、曾根信一、新貝弘、広川隆、松永圭司、茂呂茂樹、田中真司、西田豊馬、服部雅雄の十七名でした。
年一度の同級会の出席者の顔ぶれもやや固定してしまつた様な気が

がするのが残念です。今年の同級会は例年より少し早目に十月頃開催を予定しておりますが、今回は卒業後五〇年という節目でもありますので、在京同期生全員が一同に会して楽しい盛大な、思い出に残る同期会になる様切望すると共に、級友全員の御協力をお願い致します。

61期 静岡で36回め

(服部雅雄)

去る四月十一日、三十六回を数える六十一期会が静岡で行はれた。出席者は六十九人と盛会であった。東京からは天野、大石、大村、清水、富永、花見、君島の諸氏と私が参加。恩師は体操の勝又先生が出席する予定であったが体調不調とのことで残念ながら欠席された。

定刻六時開催。幹事、先輩の挨拶、写真撮影。そして遠来の客と云うことで松江から駆けつけた島根大学教授の松井保氏が音頭をとり、乾杯、会食に入った。萩原辰雄氏寄贈の「萩錦」を飲み談論風発、旧交を暖めた。欲談の途中、県会議員選の投票を明日に控え奮闘中の八木弘心氏夫人そして本人も駆けつけた。終りに望月良氏のリードで校歌の斉唱を行い、八時半過ぎ来年の再会を約して散会し

た。来年は各人選歴を迎えることになるので盛大にやろうと云うことであった。

なお会場の「玉姫殿」は、駅南の「稲森かね十味噌」の跡地に出た結婚式場を主体としたビルで、仲々豪華な造り。当夜は生憎仏滅であったので、我々とそしてシャノン化粧品品のバスケットの優勝祝賀会のみであったが、翌日は日曜日且つ大安の為、二十組の結婚式を抱え御繁昌の様であった。(安原徹治)



二人のクリスマスチャン

原孝一郎と石井次郎君

44期 白井 茂

芙蓉会(44期)は今年になって静岡の原孝一郎君と福岡の石井次郎君の二人を亡くした。二人とも城内尋常高等小学校から一緒だったので(故野間省一君も)私にはとくに哀惜の思いが深い。

原君は上海の東亜同文書院に学び敗戦まで上海で働いていたので日本軍が聖戦の美名のウラでくりひろげていた悪どい謀略や経済攪

乱工作をイヤというほどみていたし、それらの工作がどんなに中国人民をいためつけていたかを肌で感じていた。その加害者意識が戦後彼を熱心な日中友好活動に駆り立てたのであろう。いつかNHKが大黄河の取材で紅軍の瑞金から延安への大長征に参加した老兵を紹介したとき、番組が終わったトタ原君から感激の電話がかかってきたことがある。

虚偽や不正を許さないきびしい精神がいつか原君を神の道に導いた。弟さんが横浜で高名な牧師さんであったことも影響したのであろう。数年前福岡の石井君のところで洗礼をうけ、パウロのクリスマスチャンネームをもらっていた。

石井君は青山学院を出るとカナダのトロント大学に学び宗教学と教育学をおさめ、母校の青学で教えたあと九州大学に招かれ教育学部長を勤めた。東洋英和女学院長や福岡女学院長もつとめるなど敬虔なクリスマスチャンだったから、戦後の長い期間にわたって原君は石井君から宗教上の教えをうけていたようだ。

新しい石井君を困らせているかも知れない。私には天国での二人のやりとりが眼にみえるような気がする。

「いえ」
気軽に筆を執って
お送りください

三浦半島の秋谷海岸の陋屋で静かな余生を送っています。
42 菊地 謙雄

六〇年五月、結腸のポリープの開腹切除の手術をし、一二月強烈なめまい・嘔吐に襲われ、左内耳故障のため再入院、昨年(六一年)二月には左眼白内障除去、眼内レンズ詰め込みの手術をし、現在予後の通院・治療を続けています。
43 長戸 寛美

宮沢会長は小生在学中弓道部に居りまして御指導を受けましたので一度御会い申し度いと存じて居ります。
44 武田 四郎

幹事の皆様いつも御世話様になります。毎度会報を往時を回想しながらなつかしく拝見致します。
47 杉江 敏男

私は静岡卒業後今までに只一度小学校(城内尋常高等小学校)の

やりとりが眼にみえるような気がする。

関東に来て日が浅いせいと同窓会に出ても同期以外では知らない人ばかり。その同期生も出席率悪く、結局殊と不参加となる。クラス会だとよく集まるのだから、これからは誘いあって出ることにしよう。
49 直原 敏衛

関東同窓会の会報をお送り下され有難う御座居ました。第十一回の総会も非常な盛会だった由、同窓の皆さんの元気が伝わってくるような気が致します。幹事の方々に御世話をかけますが、よろしくお願いたします。
52 一 誠

やっと職を得て左記で働いています。
52 一 誠

池袋にある不動産関係の案細企業です。
52 一 誠

私は静岡卒業後今までに只一度小学校(城内尋常高等小学校)の

私は静岡卒業後今までに只一度小学校(城内尋常高等小学校)の

集りがあったとき静岡を訪れたことがあるだけです。(五年程前)
今は現役を外れて自由な時間がありますので、一度中学の頃を思い出す意味で是非訪れたいと思っております。

53 稲畑 勝

昭和61年7月より会社も相談役となり閑職となりました。唯、昨年暮より体調をくずし、折角の同窓会にも出席できず申し訳ないことです。

53 杉山 滋夫

老いて益々元氣です。毎日晩酌に焼酎をやっております。

54 八木鉢次郎

当方そろそろ老年期で仕事も正式なものとは持てなくなりました。

六十二年六月まで一応左記の保安業務を請負うことになっていま

す。(NECショールーム 千代田区内幸町二―二―三 日比谷国際ビル内)

55 戸塚 正五

何とか身体だけは元氣で相変わらず自動車損害賠償責任保険(強制保険)関係の仕事をやっております。

60 笠間 達男

役員の皆様のご努力に感謝しています。

64 竹内 豊

本年一月に静岡銀行を停年となり、静銀グループの静岡保険総会代弁へ勤務しましたが、十月一日より静岡関東代弁として独立し、東京営業所におります。今後ともよろしく願います。

64 馬場 泰男

会報楽しくなつかしく拝見して

います。

小生元氣で高田馬場でお茶屋をしております。郷土の香りや味にやすらぎを。お立ち寄り下さい。

67 加藤 友行

本家か、関東か「2重払い」の印象を払拭しないと、更に、「海外駐在」「病氣入院」時の会費免除とか、ルールを明確にしないと集金難になると思料します。

68 望月 節

昨夏はハワイ銀婚旅行、秋には長女が結婚、暮に入ってから子供達に冷やかされながら、年甲斐もなくマイカーのハンドルを握るようになりまし

た。

会報を毎号楽しんでいきます。仲々充実した素晴らしい内容で、投稿者と共に編集人に対しても感謝しております。

68 瀬口寿一郎

いつも総会の時期に多忙の為出席出来ず残念ですが、いずれその機会に恵まれるのを期待しております。

70 水野 博司

今年は一入娘が法政大を卒業、山一証券に入社、子育ても一応めどがたった次第。そろそろ婿探しを心掛けようと思う今日この頃です。

70 勝間田保夫

昨年入会させていた大きなながら一度も出席しないまま左記へ転勤しました。今後も引続き入会させてい

ただきたく存じます。

大蔵省造幣局
大阪市北区天満一―一―七九
電話 ○六一三五―一四三三〇

70 河井 良夫

銀座にお出掛けの節はぜひお声をかけてください。

73 山下 省三

ご無沙汰ばかりで申し訳ありません。

70 河井 良夫

今更モータリ時代でもないでしょうが、勤務先の会社は商社、冬の時代をはねかえすべく猛ハッスル(但し空廻り多し)して居り、精神的にも疲れる毎日です。不義理の段ご容赦下さい。

73 富田 彬道

私、帝国機器製薬(東二部上場)に勤務しております。

73 富田 彬道

会報ご送付いただきましてありがとうございます。

80 日向 秀子

三十二年卒業ですが段々と同窓会がなつかしい年令になってきました。次回会合には是非出席したいと思っております。

74 中西 恭二

不況大先輩ACの佐藤薫郷君も会費を納めている事を知りあわて納入することにしました。不況の鉄で頑張っています。

74 大嶽 隆司

74期も漸く関東における同期会が発足しようです。これからは時々同期の仲間

74 小野田幸弘

に会えるのが楽しみです。

80 角谷 勝彦

部下の結婚式出席のため九州に参りました。父親と話しているうちに「私も静中の出身で……」ということになり、世間は狭いと感

80 角谷 勝彦

じました。その方の名は石橋俊雄さん、昭和十三年の静中入學と伺いました。先輩の息子さん

80 角谷 勝彦

が自分の部下だった訳です。

80 角谷 勝彦

埼玉の田舎に居ますので一度も顔を出していません。野崎幸彦君より本払込用紙をお送り戴きましたので、こうしてペンを取りました。もっともそろそろ昔が、昔の仲間がなつかしい年代になったのかもしれない。

80 日向 秀子

会報を読んで80期関東地区同期会の様子を知りました。

85 佐野 幾子

同期会を開いてください。顔みしりの友に会いたくなりました。

●投稿を歓迎します!

会報は年二回、六月と十二月の発行をめざして、係一同がんばっています。会員の投稿を中心に編集しますので、ぜひどしどし原稿をお寄せください。

・同期会・随想・紀行文・回想記
・和歌俳句・新刊の紹介・会報についての意見など

原稿はタテ書き、15字詰めでお願います。送り先は、

〒114 東京都北区上十条 四―四―一五

慶原印刷所 御中

(60期 上杉重吉記)

一、日時 九月六日(日) 正午 十一時より受付

一、場所 江の島恵比寿屋旅館 (35期永野清氏経営)

一、会費 七千円、女性六千円

(記念写真真代を含む)

一、連絡先 (四一三六―二三六奥沢)

(四一三六―三五五勝山塗装)

一、年費不要

●第40回「江の島会」案内

一、日時 九月六日(日) 正午 十一時より受付

一、場所 江の島恵比寿屋旅館 (35期永野清氏経営)

一、会費 七千円、女性六千円

(記念写真真代を含む)

一、連絡先 (四一三六―二三六奥沢)

(四一三六―三五五勝山塗装)

一、年費不要

謎解きの随想

40期野崎操一氏著書「心の軌跡」から

月見里得知郎

阿吽の空気生活 (2)

坐禅では、まず姿勢が大切で、結跏趺坐を組み背骨を帆柱のごとく立てて頭で天を衝く心持で端座する。次に大事なのが呼吸で、道元禪師の『普勸坐禅儀』には舌は上の脰うしろに掛けて唇歯相着け鼻息微かに通じ欠氣一息し云々とある。静かに吸い込んだ息を一旦止め、後は呼吸を糸のように細く長く吐き出すのである。ここで一旦息を止めないと、呼吸が漏れてしまつて糸のように絞ることがむずかしいのは、咽喉部の弁が作動しないからであろう。

インドで五千年の歴史を有するヨガでは、呼吸に関して最も深く研究し実行を続けており、ヨガの呼吸法は数十種もあるといわれている。その呼吸法の一つに、一吸い、四止め、二吐くの割合で呼吸する方法がある。この二番目の止めが生理上効果的な作用をするのである。即ち前に述べた弁の作用と止めの間に肺胞の化学反応を促進するわけである。ヨガではこの

止めをクムバクといひ、普通の深呼吸にない独特の点である。

呼吸にない独特の点である。われわれは平常状態では、自分が呼吸をしていることに気づかない、もし気づいたら健康体ではない時である。人工呼吸とか酸素吸入が必要になると、いかに呼吸が大切であるかが判るのであるが、平素食物の栄養や咀嚼を考慮するのに比べて、呼吸には殆ど無関心であるといつてもよい。

普通の人間は一分間に平均一八回の呼吸をしている。一方、心臓の鼓動は一分間に平均七二回であるから、呼吸数と脈搏数との間には一呼吸に対して四脈搏の割合、即ち一息四搏の関係があり、これが平常時の呼吸のタイミングである。特に意識的に深呼吸をするのに、平常時の呼吸時間の二倍の長さにして、一息八搏にし、その八搏をクムバクも取り入れて、一吸い、三止め、四吐くの一呼吸八搏の構成にするとういと思ふ。

音楽が人間にとって、なぜ楽しく感ずるのだろうか。なぜ心を奮い立たせたり、しんみりさせたりするのだろうか。勿論、音波の高低、強弱、長短、音色の組合せであるメロディの影響もあるが、テナポに乗っていることが大きい原因である。音楽のテナポを指揮するメトロノームという単振子の器械があつて、洋楽の方ではテナポの速い遅いの境は一分間七二のアンダンテとされている。この数は偶然にも人間の脈搏数の平均値に一致するから、音楽というものは単に耳で聴いているだけでなく身体全体で聴いているともいえる。それが脈搏に共鳴したり呼吸に因連してきて肉体の状態と精神状態との平衡が保たれるのであろう。

ここにいう音楽の中には、手拍子から管弦楽、声楽までの洋楽と邦楽とを問わず、広い意味での音楽を含んでいる。音楽は大低四拍子が多く、拍子の基本をなしている、二拍子や三拍子も四拍子の変形と考えられる。邦楽の例を挙げると、謡曲の拍子謡は八拍からなっていて、七五調の歌詞を聞かすで伸ばして、四拍子の倍の八拍におさめ、囃子の楽器の調子に合うように作曲され、呼吸にも合うようになっている。

人間の平常の状態では昼でも夜でも、吸・吐・休・休の四拍子のリズムで呼吸をしている。これは健康状態の場合であつて、もし氣息奄々となると、吸・吐・吸・吐のリズムになって酸素の補給を訴えてくる。またマラソンのように、酸素の所要量が多く、かつ胸筋活動を節約するために、吸・吸・吐・吐のリズムで走るようになる。深呼吸などはラジオ体操同様にあまり面白くないものであるから、仲々実行する気になれない。そこで、日常の通勤で歩く時間を利用して一吸・二三四止・五六七八吐の八拍子の呼吸をしながら、固有脈搏のテナポに合わせて五分間も歩けば申し分がない。

それでは無味乾燥だと思ふ人は歌謡曲でもお経でも長唄でも謡曲でも謡うことにすれば、三十分は知らず知らずの内に規則正しい深呼吸を行なうことができる。音痴の自覚症状があつたり噪音防止を配慮するならば、坐禅でもヨガでも結構である。

いずれにせよ、空気生活を考えなければならぬ時代になっていることは事実である。昔の人の叡智から出た阿吽の呼吸を、現代に活かした空気の摂取方法を講じた方がよいと思ふ。人間にとって最も大切な物質である空気の摂り方によつて、一生の間には相当の差がつくだろう。

それでは無味乾燥だと思ふ人は歌謡曲でもお経でも長唄でも謡曲でも謡うことにすれば、三十分は知らず知らずの内に規則正しい深呼吸を行なうことができる。音痴の自覚症状があつたり噪音防止を配慮するならば、坐禅でもヨガでも結構である。

内科・外科・整形外科・皮膚科・放射線科
人間ドック
熱 函 病 院
院長 小坂 博 (67期)
住所 熱海市春日町12-2
TEL 0557-83-3131

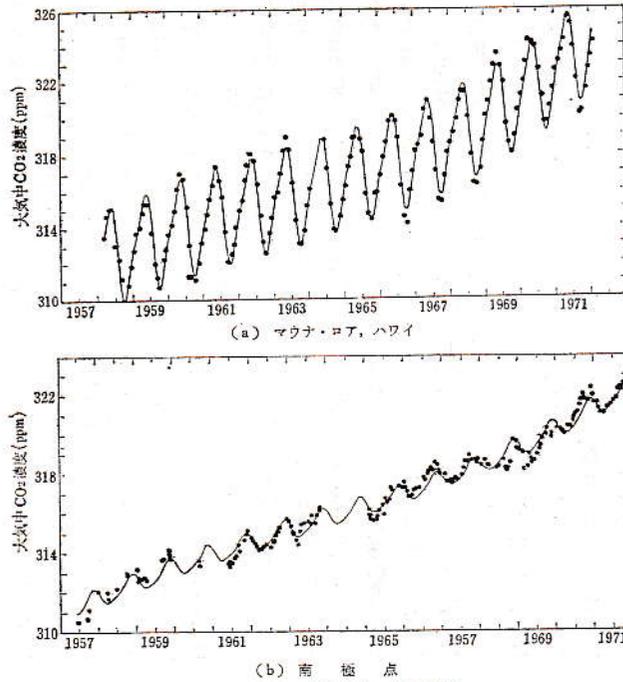
同窓会コンベンなど、ご相談ください。
伊豆大仁カントリークラブ
伊豆大仁開発株式会社
代表取締役 石橋 正 秋
取締役支配人 安田 正 弥 (66期)
静岡県田方郡大仁町浮橋字南松坂1198-1
TEL 0558-76-2401 (代表)

空気の地球化学 (承前)

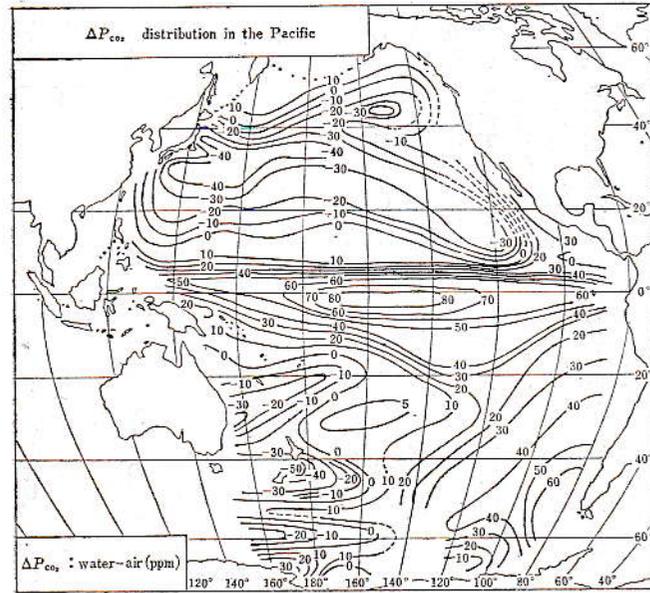
三宅 泰 雄 (41期)
(地球化学研究協会理事)

B 紫外線

レリー散乱は波長がみじかいほど強くなるので、目には見えない紫外線はとくにつよく散乱される。天空からの紫外線の分布をしらべて見ると、直射日光が到達す



図一 大気中二酸化炭素の濃度変化



図二 二酸化炭素の大気・海洋間の分圧差 (ppm)

る場所でもなく、紫外線は天空一面からかなりの強さで地上に降りそいでいるのである。私はしばしば太陽の紫外線浴をするのは直射日光のあたるところより、むしろ天空に向かって開けた日か

げのほうがよいと人にすすめていくくらいである。地上に到達する紫外線の波長は280nm(10⁻⁸m)が短いほうの限度である。さらに波長のみじかい紫外線に対しては空気は吸収体としてはたらしきをしめす。もっとも強い吸収帯は、空气中にわずかに存在しているオゾンによる吸収帯である。オゾンは200~270nmくらいの波長帯に強い吸収帯をもっている。そのおかげで、生体に対しきわめてつよい破壊力をもつ200nm以下の太

陽紫外線は完全に吸収され地上に到達しない。すなわち、有害紫外線にたいしオゾンが防禦の役をはたしているのである。

C 赤外線

以上は空気と可視部および紫外部の光との関係であった。このほかに、空気は光の赤外部とも大いにかわりをもっている。空气中で赤外部の光を吸収する物質としては、オゾン、二酸化炭素、水蒸気等がある。このうち最近とくに重要視されているのは、

二酸化炭素の赤外吸収である。太陽の光は地上を照射して地面や海面をあたためるが、それはまた地面、海面から熱線(赤外線)となつて逆に天空に向かって放射される。その赤外線を空気中の水蒸気や二酸化炭素が吸収して、空気をあたためるのである。これを大気の毛布作用という。もし大気がこの毛布作用がなければ、地球は日のあたらぬ極寒の惑星となるだろう、逆に心配されるのは大気内に赤外吸収体が増えれば気温が高くなりすぎるのではないかということである。そうならば極地の氷がとけ海面の水位が高くなり、東京もニューヨークも水没するのではないかと心配されている。のちにのべるように、昨今、二酸化炭素の空気中の増加が問題になっているのはこのためである。

八、空気の変質

上にのべたように、大量のエネルギー生産により、二酸化炭素等が余分に排出されはじめたことから、空気が人為的に変質するという大きい問題が生じてきた。ここでは空気の変質の中でもっとも顕著な二酸化炭素の増加について述べよう。

(1) 二酸化炭素の増加

私たちは、空気中の二酸化炭素

の含量は、いまから数百年前には0.028%であったことをたしかめた。これは南極大陸の氷河氷中にとじこめられていた空気中の分析を行った結果である。この含量は前世紀の末までつづき、前世紀の末の値は0.029%とされていた。

二十世紀になって空気中の二酸化炭素はふえはじめた。二酸化炭素は0.03%をこえ、とくに一九五〇年代の終りごろからは、年間に、0.7ppmくらいずつ増え続け、今では0.034%前後までになった。

二酸化炭素の増加の原因は、いりまでもなく、化石燃料の燃焼である。統計によれば、化石燃料の燃焼から生ずる二酸化炭素の全量の1.3~1.2くらいが大気内にとどまっているという。

二酸化炭素は前にのべたように、赤外線線の吸収であり、水蒸気とともに大気の毛布作用の重要な手である。それだけに、二酸化炭素の人為的増加が将来の地球に大きい気候変化をもたらすのではないかと心配されている。これが、いまからその対策を講じておかなければならないとされる所である。

九、二酸化炭素の大気・海洋間の交換

二酸化炭素の大気中における増

大の原因については、化石燃料の燃焼のほかに、大陸における森林の破壊による植物相の減少もあげられている。ただし、誌面の関係上、ここでは森林の大気中の二酸化炭素含量の關係については、これ以上ふれない。

海洋には前述のように大気内の百倍にちかい二酸化炭素が溶存している。いままでは大気と海洋間では二酸化炭素はほぼ溶解平衡がたもたれ、大気中の二酸化炭素が増加すればその増加分は海に吸収されると考えられてきた。

しかし私たちが全太平洋にわたってくわしく調べた結果は、海洋と大気は二酸化炭素に関して平衡状態にはないことが分かった。すなわち、北太平洋の大部分の海域では海洋表面の二酸化炭素の分圧は大気のものより低い。これにたいし赤道海域では海洋の二酸化炭素の分圧が圧倒的に大きく、太平洋全体としては、海洋は二酸化炭素のシンクというより、むしろ、その反対に二酸化炭素を大気中に放出しているのではないかとという重大な結論がもたらされた。

しかし、海洋からの年間放出量は、植物の光同化によって年間に植物に移行する二酸化炭素の量よりは少ないこともわかった。

これらのことから、近年の大気中の二酸化炭素の増加を理解するためには化石燃料の燃焼、大気・海洋間の交換、光同化作用、森林の減少など、多岐にわたって総合的に考察しなければならない。

十、光化学スモッグ

二酸化炭素の増加のほかに、昨今、世界の大都市で問題にされているのは、いわゆる光化学スモッグである。これは自動車の排気中にふくまれるガソリンの燃えのこりの炭化水素と、酸化窒素が光化学的に反応して生ずるオキシダントによってもたらされる。オキシダントとは酸化性のつよい気体物質のことで、その大部分はオゾンである。

オゾンは、地上付近の空気中にはほとんど存在しない。オゾンはもっぱら地上500mの付近で太陽紫外線によって生成される。昔から、海岸や松林の空気中にはオゾンがふくまれているといわれてきた。しかし、これは全くのまちがいである。地上付近の空気中のオゾンの量は千万分の一をこえることはない。

でオゾン量を測定し、オゾン量が都心に多く郊外で少ないことを見出している。

十一、オゾンの破壊

オゾンに関しては、超高速ジェット旅客機からの酸化窒素の排出・地上からのフレオンガスの放出などにより、成層圏のオゾンが破壊されることが心配されている。オゾンは紫外線のつよい吸収体であり、もし、それが破壊されれば、つよい紫外線が地上にふりそそぎ、その結果として、皮膚がんなどの発生の増加が懸念されているのである。

最近、地球物理学兵器とよばれる新兵器の出現がうわさされている。その中には、成層圏のオゾンを破壊して、その下に住む国民と生物をみなごろしにしようとするおそろしい兵器の開発も考えられているのである。(終り)

「建築雑誌」より

三宅泰雄氏は中央気象台、気象研究所、東京教育大教授などを歴任され、分析化学界の重鎮として海洋汚染、原子力問題で鋭い発言を続けておられる。そして、62年5月21日毎日新聞「若い日の私」欄では、没頭された海洋化学の開拓と、平和への祈願を述べられている。ぜひご覧ください。

建築設計・監理

株式会社 ユニオン設計センター

代表取締役 成岡英彦 (67期)

一級建築事務所登録7425号
東京都新宿区西新宿7-14-9 規格ビル
TEL 03-363-8604 (代表)

新東京印刷株式会社

代表取締役 梶原由三 (67期)

東京都中央区八丁堀2-1-7 神鋼ビル
TEL 03-553-8981 (代表)

静岡だより

今回は春の対静岡定期戦快勝のニュースをお届けします。

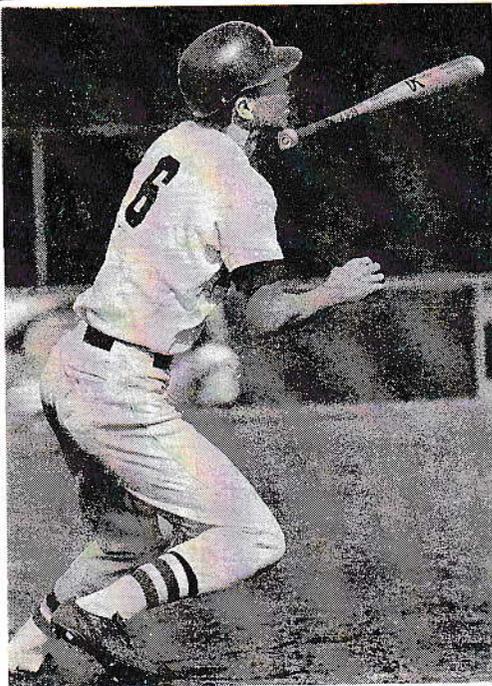
春季大会は残念。しかしファン
のうわさでは、「投手力が安定す
れば夏には期待がもてる」とか。

静岡市長選では現職の河合代悟
氏（70期）が苦杯を喫するという
大波乱。残念でした。

（67期 光木 徹）

静岡・静岡野球定期戦

静岡の「火薬庫打線」が爆発、
静岡を大差で下す……第29回静岡



・静岡野球定期戦は、五月三日の
雨で一日延びた四日、静岡草薙球
場で約一万人のファンに囲まれて
行われ、静岡が10―2で圧勝し、
対戦成績を18勝11敗とした。

「切れるな！ 入れ！」静岡ファ
ン五千人が祈る気持ちで左翼ホー
ルを見つめる中、白球はボールの
右側をまいて、レフトスタンド中
段に弾んだ。8回裏無死満塁から
この日四番に抜擢された3年岡田
の満塁ホームランだった。

今年の静岡打線は、一人が打て

ば次々と引火して爆発する「火薬
庫」のようなもの。この試合でも



3回裏、岡田の犠牲フライで、
三塁ランナーの大畑がタッチアッ
プ、同点に追いつく

三回表に静岡に1点を先行された
ものの、その裏すかさず反撃、2
番大畑、3番高田と連打、4番岡
田は素々とレフトに犠牲フライを
打ち上げて同点。さらに5番篠原
6番良知と連打で点を加え2―1
と逆転した。

これで火がついた打線はさらに
4回に2点、5回に2点を加え、
トドメは8回の岡田の満塁弾。9
回に1点は許したものの、10―2
と定期戦史上ナンバ13の大差と

なった。

一方投手陣は、エース赤堀（2
年）を筆頭に、相沢（2年）梶山
（2年）篠原（3年）大嶽（3年）
と力のある5投手が揃っていて、
船川監督は誰を使うか頭が痛いし
というぜいたくな悩みも……。

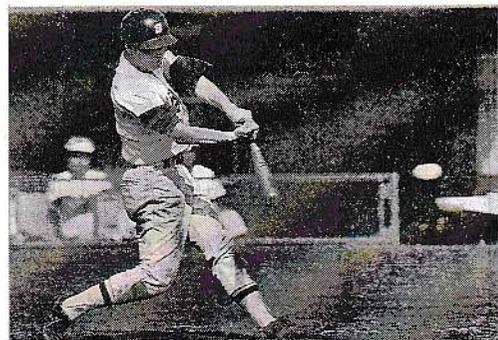
この日は、先発メンバーは三年
生でーとの方針で春の大会ではロ
ーテーション入りをしていなかった
篠原がマウンドに上がったが、
5回を1安打に抑えるナイス・ピ
ッチング。続く大嶽も2回を1安
打で抑え、最後は赤堀と相沢が1
イニングずつを締めくくった。

伝統の定期戦とあって、応援合
戦も過熱気味。とはいえ、終始意
気が下がっていたのは静岡側スタの
ンドで、名物応援男の増井一之
ん（82期）も、例のポロポロの旭
日旗を振り回しながら「今年の夏
は、日程を空けておくれー！」と
シュプレヒコールをくり返してい
た。

静岡 0010000001 2
静岡 00222004X 11

（商）桑久保、漆畑―末永、池田
（高）篠原、大嶽、赤堀、相沢―
高田

▽本塁打 岡田（高）
▽三塁打 柴田（高）



8回裏4番岡田、満塁ホームラ
ンを放つ

▽二塁打 梶林（商）柴田、高田
大嶽（高）

なお、この定期戦に先立つ春季
県高校野球大会でも、静岡は3回
戦で静岡を10―1、準決勝で静岡
東を3―2、決勝で清水東を3―
1と下し、中部地区大会の優勝を
飾った。しかし、これに続く県大
会では、二回戦で浜松工業に七対
六で逆転負け、決勝進出の夢を絶
たれた。（85期 吉水 広）
上段の写真は岡田がレフトスタ
ンド中段へトドメの一発満塁ホー
ムランを叩き込んだ一瞬

（写真提供・静岡新聞社）

ちゃつきり節60周年

静岡の民謡といわれてすぐ思い浮かべるのが「ちゃつきり節」。ことしは「ちゃつきり節」が生まれて60周年ということで、このほどゆかりの地、清水市馬走の「狐ヶ崎ヤングランド」で記念フェスティバルが催された。

ちゃつきり節は、昭和二年に、静岡鉄道が狐ヶ崎遊園地(現狐ヶ崎ヤングランド)の開園を記念、北原白秋に作詩を依頼、邦楽作曲家の町田嘉章が作曲した。宴席にいた芸者が窓の外を眺めながらつぶやいた「きゃあるが鳴くんで雨ずらよ」がヒントになったというエピソードは有名。

全国的に有名になったのは、戦後、市丸さんのレコード吹きこみから。三十二年の静岡国体で、婦人たちが披露した歌と踊りによって静岡県の代表的民謡としての地位を確かにした。

記念フェスティバルには、このちゃつきり節を五、六十年も歌っている市丸さんも出席、衰えぬノドで名調子を披露した。

(静岡新聞から抜粋)

レストラン紹介

少し毛色の変変わった「静岡だよ

り」を書きます。直木賞作家の村松友視先輩(75期)の名は広く知られておりますが、(祖父の故郷風氏は応援歌「希望の歌」の作詞者です)、先輩の小説「清水みなとストーリー」がNHK銀河ドラマとなり、六十一年二月に放映されました。

主人公を清水出身の柴田恭兵が好演し(実家は草薙の魚屋)、秋ら冬にかけての清水・三保・富士山などがふんだんに登場して、多くの人を魅了しました。特に、地元の視聴率は大変なものだったそうです。又、余りにも美しい郷土の姿に接し、ふるさとを惚れ直した人も少なくなかったと思えます。

今回紹介したいのは、そのドラマの舞台となったレストラン「サンライズ」です。劇中では「ムーン・ライズ」となっております。又、絵をよくする若旦那というのが主人公でしたが、実際絵が達者なのは御主人なのです。しかし、ドラマにも出て来た「スペシャルカレー」が人気メニューであることは何ら変わりありません。これほどおいしいカレーライスの上にこれまたおいしいヒレカツと目玉焼きがのっているという質量共に申し分のない一品です、健康家を自

認する私でも、十分満腹になりました。

この店は港橋のすぐ近くにあり、一頃の活気を失った清水の町では異彩を放っています。店内にはドラマのステール写真がかけられ、メニューも軽食からステーキまであって気軽に利用できると思えます。帰省やドライブ(そしてデート)の折に立ち寄られたらいかがでしょうか。

私も、村松先輩のように静岡時代によく行った店を舞台に小説でも書いてみたくなりました。尤もそんな文才はどこにもありませんが……。

※サンライズ 電話清水〇五四三―五二〇八一〇 (100期 杉田直樹)

著書紹介

会報十五号に「神田川と私」と題して佳文とスケッチを寄稿された67期の朝倉勇氏が「麻布仙台坂の日曜日」という六冊目の詩集を刊行しました。静岡新聞の読書欄に左のように紹介され、好評です

のでお知らせします。 東京都港区元麻布一丁目に詩人の住まいがあり、仙台坂に面している。仙台坂は、江戸時代に仙台藩の下屋敷があったことから、今

もそう名付けられている。「朝倉勇詩集 麻布仙台坂の日曜日」は日曜日ごとの日常の片隅のさりげない風景、人、寸感が詩作品になっている。だが、著者は「日曜詩人」ではなく、詩誌「歷程」同人で、その編集に携わり、詩歴も長い。

作品は、きらびやかに飾られてもいないし、難解な詩語をひねってもいない。ありふれた日常語でそのまま語り出している。それがほのぼのとした人間の温かい言葉となり、じかに読む者の心に触れてくる。その血の通い合いが、なんと懐かしく、麻布仙台坂が眼前に浮かんでくる。

「創造とはつくることではなく、受け入れること」という言葉によい共感を覚えるという著者の思想が、しなやかで、みずみずしい詩編を生んだ、といえる。

(思潮社、A5判、一六五ページ 二四〇〇円)

六一年度会費拠出者

(順不同・敬称略、括弧内の数字は口数、無印は二口)

- 期別
- 二六 土屋正三
- 三〇 神谷啓作
- 三一 鈴木栄一

国際線航空貨物・海外旅客取扱い 運輸大臣登録旅行業代理店業3440号

株フジ・ワールド・エンタープライズ

代表取締役 中馬敏雄(70期) 〒105 東京都港区浜松町1-29-7 河原ビル 貨物電話 434-0591(代) 旅客電話 437-5861(代) 直通 433-6651 FAX 434-5537

株式会社 富士越 株式会社 富士越化成

代表取締役 野澤正憲(64期) 東京都渋谷区東2-14-9 TEL(409)3342(代) TEL(400)9541(代)

- 三二 前田鉄三
- 三三 嘉悦一郎
- 三四 畔柳安雄
- 三五 石井周平
- 四〇 増田完五 (5)
- 四一 三宅泰雄
- 四二 坂野隆介、井上寿徳、内田正大、菊地謙雄、鈴木祐次郎
- 四三 今井志郎 (5)、井沢源治 (1)、三宅静雄、長戸寛美、池谷三郎
- 四四 長田寿雄、佐藤文三、長野寿一郎、鈴木進、森川泰、武田四郎
- 四五 下川孟、伊藤敬三、黒田朋彦、蝦原一郎
- 四七 志田千春、杉江敏男、嶋谷亮一、野口真、佐津川太郎
- 四九 上杉一郎、陰山修次、山村忠平、矢崎宗男、直原敏衛
- 五〇 江川友治、梅村魁、深沢八郎、仁科義郎、大庭富士夫、田中誠、佐野三樹雄
- 五一 永井五一郎、鈴木孝雄、谷川清、大富部国男
- 五二 市川雄八郎、相島秀夫、鈴木三男、石野浩一、樽松恒右、遠藤謙、西田豊馬、小川善次郎、岩本良雄、為田清新美弘、一誠、鼠入武夫、大石巖、桜井昌也、山菅幸
- 五三 大橋百蔵、森下洋、鈴木弘雄、宮沢四郎、杉山滋夫、稲畑勝 (3)
- 五四 下山西四郎、山田幸作、八木銚次郎 (1)、山口道也、居初良雄、加藤和史
- 五五 戸塚正五、塚越修
- 五六 石塚由雄、鈴木源一
- 五七 天野喜久雄、島根光明、久保田誠三、森下恒彦、小花正昭、福住俊郎、原川久雄、渡辺武男
- 五八 服部健一、島村悟、滝戸道夫
- 五九 狩野和男、三輪潔、高橋裕内田武二、加藤恵一、福原元一、酒井哲夫、長谷川邦三、鈴木義男 (1)、青木豊、大村和夫、原淳、勝呂清、内田武男、本田豊、小沢将男、小沢武彦、磯部一高田隆祐、原俊、萩原莊平、鈴木明、笠間蓬男、山路敬三、山本正三、内藤敏夫、河合陸郎、井田淳
- 六一 君島敏男 (3)、山崎和夫、長瀬脩、伊藤久、清水照彦、相羽達雄
- 六二 六三 鈴木新之輔
- 六四 六五 栗田行雄、渡辺進三 (3)、吉井駿亮、馬場泰男 (3)、村上喜代二、原
- 六六 田美津男、柳田堯、竹内豊村上幸之 (3)、井戸良輔、田中俊男 (3)、早見雄幸、菅原馨、大塚修弘、尾入泰彦、曾根錦吾、湯浅謙、小嶋清司、浜田裕志、関本和男、山本俊夫、馬淵逸明、前田和彦、藤原隆二、高橋宏
- 六七 大石脩而、岡村英二郎、加藤友行、小坂博、児島英男、岩崎為明、土屋博 (3)、増田安国、黒田秀幸、朝比奈正三、田中映吾、向井久山岡進、小杉弘、手塚重明、山川静夫 (8)、戸塚惣雄、杉山喜三
- 六八 鍋田邦彦、宇田貞子、鈴木俊彦、藤波真五、杉山忠男、佐藤忠行、伊東良平、瀬口寿一郎、伊月喬、植田勇夫、望月節、小島哲彦、松下可郎、稲葉清、高木泰志、望月芳朗
- 六九 清水今一郎、藤卷貞夫、小嶋国彦、小佐野栄雄、河井良夫、谷川治弘、宮代省一、富田三樹、森野寿美子、白石通子、水野博司、原田行造、田中元、鈴木清、松浦洋一郎 (3)、斎藤長三郎、松永茂、石川悟 (3)、松
- 七〇
- 七一 井昌夫、望月泰弘、鈴木文一郎、清智、坂本康、庵原英男、勝間田保夫
- 七二 佐藤利治 (3)、酒井力、本間啓司
- 七三 丸山安彦、宮沢男
- 七四 石川八洲夫、近藤守、杉山光、望月公美、中川明久、古井大朗、松下勝朗、望月智、三枝通康、青木俊一郎、岡本修、石割浩司、柴山欽伍、遠山敦子、山下定三、仲川信正、鈴木良明、山梨由記、小野田幸雄、宗像純司、杉山親司、石川征四郎、松永文夫、牧野昭雄、杉山正倫、松野猛、富田彬道
- 七五 加藤恒行、熊谷敦子、大森隆司、田中佐知子、鈴木三郎、山脇伊久男、見城尚志、青木道芳、曾根博義、大長義信、伊地知正典、望月徹弥、望月保、小野田幸弘、中西恭二
- 七六 勝間田武司、藤倉美耶子、友田徹、佐藤茂秋、遠藤安彦、梶勇兵
- 七七 七七期同期会 四万円
- 七八 藤江通昌、増田安久、角谷勝彦、諸星勝保、松浦正朗、杉山峰雄、近藤代、大石和
- 七九 孝裕、秋山幹男、山崎真裕、入谷健彦、日向秀子、中村政彦、島口崇、中村政彦
- 八〇 杉山篤史
- 八一 望月信幸、佐野幾子、磁谷修平
- 八二 石井武政、田中育恵
- 八三 鷲尾幸二
- 八四 室田泰志、田中悦子、杉浦一〇〇
- 八五 俊彦、植田裕子、小田統子

◎年会費二千円の拠出を、同封の振替用紙にてぜひお願いします。
◎会報に掲載の広告を、奮って応募してください。

不動産のご用はぜひ
三井不動産販売ネットワーク
城南リハウス株式会社

目黒店・自由が丘店・蒲田店
日東不動産株式会社

取締役社長 田島 弘一郎
取締役副社長 調子 達郎 (70期)
東京都目黒区下目黒1-3-27
TEL 03(491) 0 1 7 1 (代)

鈴与株式会社

取締役会長 鈴木与平 (44期)

清水市入船町11-1
Tel 0543 (53) 3111 (大代表)
東京支社 千代田区丸の内2-3-2 郵船ビル4F
Tel 03 (284) 0551 (代)

トッパン・ムーア株式会社

取締役社長 宮澤次郎 (42期)

東京都千代田区神田駿河台1-6
TEL (295) 2411 (大代表)

凸版印刷株式会社

東京都台東区台東1-5-1
TEL (833) 2111 (大代表)

本田技研工業株式会社

川島喜八郎 (52期)

東京都渋谷区神宮前6-27-8
TEL (499)0111 (大代表)

株式会社 東電社

取締役社長 岩波信平 (42期)

東京都中央区日本橋2-1-21
TEL (271) 2701 (大代表)

日本レーベル印刷

代表取締役 岩井平一郎 (57期)

本社 静岡市国吉田645
TEL 0542(62)1111 (代)
東京 中央区京橋1-2 越前屋ビル
TEL 03(272)4651 (代)

自動車・電機部品の自動塗装及びシルクスクリーン印刷

勝山塗装工業所

代表取締役 奥澤徹 (59期)

本社工場 横浜市瀬谷区橋戸3-25-6 〒246
Tel 045-301-5545 FAX 045-301-5547
大和工場 大和市深見3706-1 〒242
Tel 0462-62-0340 FAX 0462-62-0343
東松山工場 東松山市大字新郷88-47 〒355
Tel 0493-24-2511 FAX 0493-24-2513

建築コンサルタント・設計施工業務
建築に関する御相談は御気軽に……

株式会社 大雄

取締役社長 奥野孝 (53期)

本社 東京都台東区東上野2-18-7 共同ビル10階
TEL 03-834-5331 (代表)

建築設計・監理

奥野建築設計事務所

取締役会長 奥野孝 (53期)
取締役社長 奥野進 (56期)
取締役副社長 奥野広 (58期)

本社 東京都台東区寿2-5-12 加瀬ビル
Tel 03-842-6831 (代表)
静岡事務所 静岡市安東2-8-14
Tel 0542-46-9378

総合広告代理店

株式会社 アドプロ

代表取締役 朝比奈正三 (67期)

東京都千代田区内神田3-4-5 岡崎ビル3階
TEL 03-254-2171 (代表)